

稲城市長 高橋 勝浩 様

『わたしたちが描くまちの姿』について（提言）

2030年の稲城を描く市民会議では、23人の参加者で2030年の稲城の姿について話し合ってきました。

「2030年、あなたはどんなまちに暮らしていますか？」というキーワードから将来の稲城の姿を考え始め、話し合うテーマをみんなで出し合い、話し合いを重ねました。子ども達はどんな未来を思い描いているのかを知るために、『みんなの稲城 2030年アンケート』も実施しました。

話し合った意見、子ども達の意見をまとめて提言書の案を作成し、3度にわたって大きく見直しました。市民に広く意見公募も行いましたし、私達参加者でも様々な意見が出ました。

そうして、まとめた、私達が描くまちの姿です。

10の暮らしたいまちを通してみえてきた3つの姿

市民の力が活躍するまち

コミュニティが生きるまち

ほどよく田舎ほどよく都会なまち

この中に記されたひとつひとつが、私達23人の言葉でもあります。

2030年の稲城に向けて、ここに提言します。

令和元年6月28日

2030年の稲城を描く市民会議